

資料編

1 アンケート調査の結果

<市内配布先（例）>

座間市自治会総連合会、座間市老人クラブ連合会、座間市民生委員児童委員協議会、座間市障害者団体連合会、座間市ボランティア連絡協議会、ボランティアセンター登録ボランティア、地区社会福祉協議会、小学校PTA、中学校PTA、ファミリー・サポート事業会員、にここサービス事業会員、チョッピリ先生、座間市総合福祉センター利用者、成人式参加者、消防団、神奈川県立座間養護学校、神奈川県立座間総合高等学校、座間・手をつなぐ介護者の会、家計相談事業利用者、座間市発達支援事業所サニーキッズ、市内保育園、地域行事の参加者、市行政職員、市社協職員

など

<有効回答者数>

回答者総数	796
-------	-----

<問1. あなたの性別はどちらですか。>

性別			
男性	286	女性	510

<問2. あなたの年齢はどれですか。>

年齢					
20歳未満	57	20歳代	85	30歳代	44
40歳代	81	50歳代	79	60歳代	174
70歳代	217	80歳以上	59		

<問3. あなたの職業は何ですか。>

職業					
正規雇用	68	非正規雇用	134	自営業	40
学生	111	無職	399	その他	44

<問4. あなたのお住まいはどちらですか。>

住まい(圏域別)					
相模が丘	112	ひばりが丘	136	栗原	128
相武台	110	立野台	137	新田宿	173

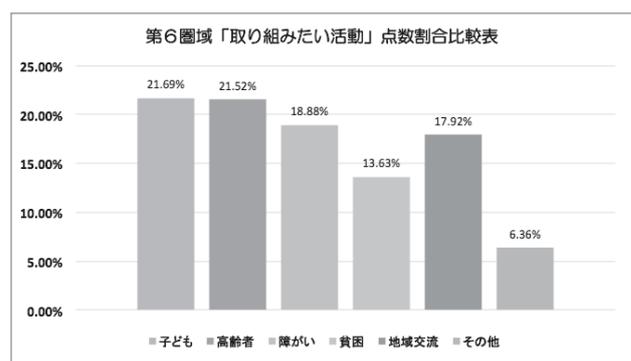
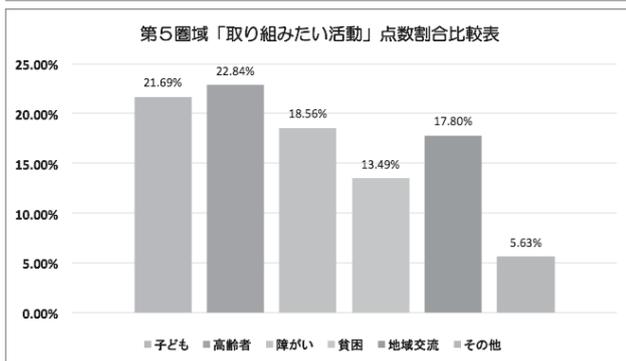
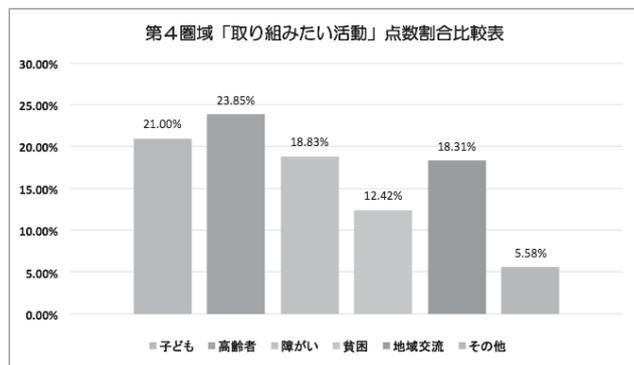
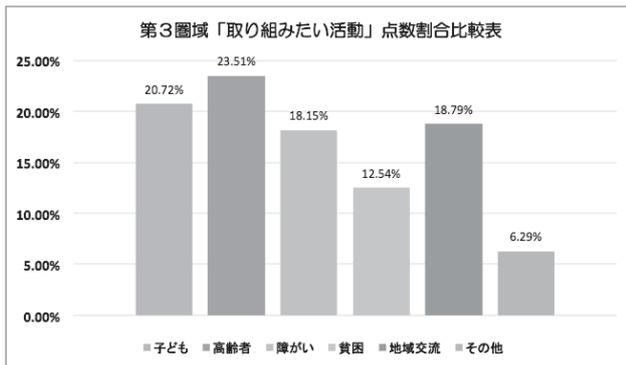
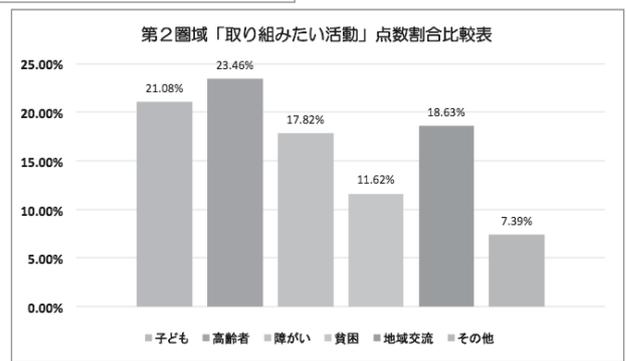
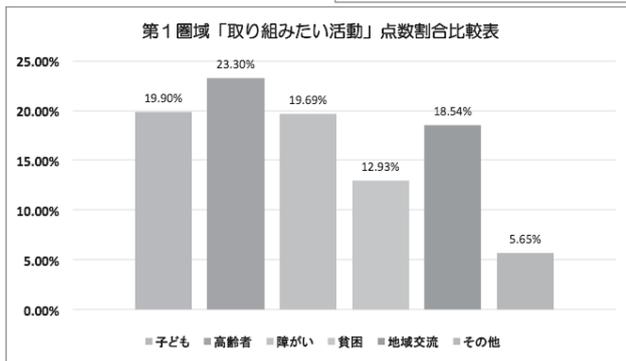
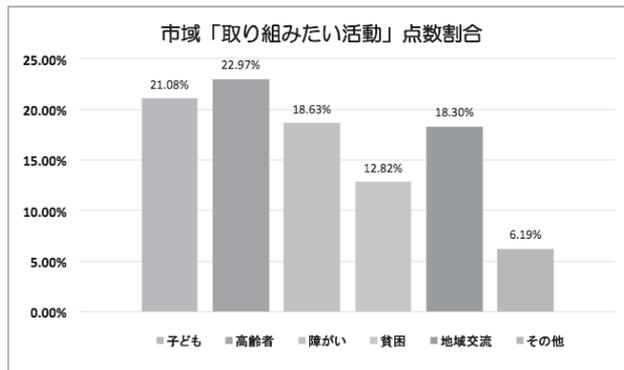
<問5. あなた座間市に何年お住まいですか。>

座間市に住んでいる年数					
5年未満	28	5～20年	235	20～40年	281
40～60年	193	60年以上	59		

<問6. 日常生活を送る中で、下記にある地域福祉課題に対し、
あなたが取り組みたいと思う活動を順にその順位を記入してください。>

- ・ 子ども・子育てに関すること（子どもの居場所や子育て世代への支援など）
- ・ 高齢者・介護に関すること（認知症・買い物難民・介護者支援など）
- ・ 障がい児・障がい者に関すること（バリアフリー・障がい者支援など）
- ・ ホームレス・貧困など生活困窮者に関すること（フードバンク・就労支援など）
- ・ 世代間交流や地域交流に関すること（サロン・見守り・孤立孤独支援など）
- ・ その他、あなたが考える活動

※ 1位：6点、2位：5点、3位：4点、4位：3点、5位：2点、6位：1点



<問6-2. 問6で「その他、あなたが考える活動」として、
あなたがお考えになったことをご記入ください。>

- ・あいさつ活動、若い世代も立ち寄りたいと思えるサロンの普及
- ・お隣さんの顔がわかる地域づくり
- ・コミュニティーセンター等でいつでも立ち寄れるサロンの様な場を作りたい
- ・ご近所の見守りに重点を置きたい
- ・サロンに参加
- ・サロンの立ち上げ
- ・シングルマザーの手伝い
- ・障がい者支援などのお手伝い等
- ・プレイパーク作り
- ・ボランティア活動
- ・自然な形で集まり交流が生まれるようにみんなが楽しめる場所を広く地域に作る
- ・みんなが集まれる場所の設置
- ・もっとやさしい住み慣れた生活
- ・レクリエーション活動
- ・ロコモーショントレーニング活動を行うことによって転倒防止につなげる
- ・安全、安心での絆づくり
- ・見守り活動
- ・介護予防の指導、高齢者の体力作り等
- ・近所の顔見知りの方とあいさつをする言葉を交わす
- ・海外からの移住者の支援
- ・災害時の事を含めて近所とのつきあい（助け合い）をまず密にして少しづつその輪を広げていけたら良い
と思います。
- ・外国から来られた方たちの支援
- ・外国人への日本語支援
- ・街に散らかるゴミをきれいにする運動
- ・各種イベントの参加（会食会、にこにこフェスティバルなど）
- ・各地域における福祉ニーズの再調査・掘り起し活動
- ・学校が終わってからの子どもの居場所の提供
- ・学習支援、不登校や心のケア
- ・学生ボランティアとの交流の場
- ・虐待全般、居場所のない子ども達の保護、サポート全般
- ・教育支援
- ・近くに高齢者が気軽に立ち寄りお茶を飲む等サロン
- ・近隣とのコミュニケーション
- ・若い人が積極的に地域のために活動していただけるように協力していきたい。
- ・ご近所の方と仲良く生活したい、お困りのことがあったら自分のできることをサポートしたい。
- ・近所の人顔が見えて、外で会ったら会釈とか声をかけられるように、地域のそれぞれの団体さんの行事
に参加して顔を覚えたい。
- ・空き家の有効活用、空き店舗の活性化
- ・健康講座を開催し健康への取り組みを支援
- ・地区社協のお手伝い
- ・公園の砂場の手入れ
- ・高齢者、障がい者の見守り
- ・高齢者の歩行訓練の手伝い
- ・高齢者が元気で活動するスポーツ指導
- ・高齢者の集う場所作り、子育て世代の相談できる場所作り
- ・高齢者への支援（一人暮らしの人）、老老介護の見守り、協力体制
- ・国際交流
- ・婚活支援など
- ・町並みをより良く次世代に伝えていく街づくり活動
- ・子どもカフェに関する活動
- ・子どもたちの遊び場の整備や清掃活動に参加
- ・子どもと老人が触れ合える場づくり

- ・子どもに童話、紙芝居の読み聞かせ
- ・子供食堂などのお手伝い
- ・子供貧困対策の活動
- ・自治会、地区社協の事業への協力
- ・自治会が主になって取り組む活動の支援や、コミセン・文化センター・小学校の文化祭・お祭等
- ・自治会活動の活性化
- ・自治会行事への参加を呼び掛け
- ・子育てに関する市民活動
- ・新旧の住民が協力して地域共同体が成立・自治会加入世帯と非加入世帯が協力・独居者の見守り。
- ・民生委員活動
- ・自分のできることを自主的にやる交流
- ・手仕事でできる仕事があったら、雑巾縫い等
- ・手話通訳者普及活動
- ・住民の導線を妨げない地域づくり、みんなの顔が見えるまちづくり
- ・重度の病気の心のケア、生きがいを見つける助けをする場をつくる
- ・女性が働きやすくする取り組み
- ・小中学生の学習支援
- ・障がい特性の理解
- ・サロン活動
- ・高齢者と子供の食生活改善
- ・震災支援シャトルバス運行
- ・世代を越えた交流
- ・清掃
- ・生きがいづくり
- ・地域が元気になる活動
- ・地域が連携して住みやすい地域にしたいと思います。
- ・地域の活性化（地域リーダーの育成）
- ・地域の健康増進
- ・地域の見守り、日中子ども達とのふれあい
- ・地域の社会性を重視して近所付き合いや、関わりを大事にして、人間の関係を重視した取り組み
- ・地域の諸団体と共に先ず高齢者が集える場所をつくる活動
- ・地域の中で高齢者同士が仲間づくりをし、一つになれるような活動
- ・地域の方たちに声掛けをして、明るい町づくりをする活動
- ・地域ボランティア団体への資金援助
- ・地域の環を広げて知恵を出し合って孤立を防ぐ事にいろいろ考えてみましょう。
- ・地域社会の中で健康に関することを一緒に考える
- ・地域内の環境に対するボランティア活動
- ・地域内の諸活動期間との連携を行い、情報の共有と見守りを行っている
- ・地域福祉に協力できるボランティアの育成に関すること
- ・地元のコミュニケーション作り、若い人と年寄りが気軽に話せるサロン
- ・点字翻訳活動
- ・どこにどの様なお年寄り、障がい者、その他が住んでいるのかという事を地域に住んでいる人達が共有すること。
- ・話し相手
- ・年齢問わず、ひきこもり問題
- ・買い物難民問題
- ・不登校児・生の学習支援
- ・閉じこもりがちなお年寄りに積極的にグループ、サークルの紹介
- ・母子家庭や勉強に意欲のある学生や若者を助けること
- ・防災を通じて文化活動づくり
- ・未病予防のように支援や援助が必要となる前に自身で行う脳トレ・体力づくりを支援する活動
- ・魅力のある街づくり
- ・子どもの交通指導等
- ・落ち葉拾い
- ・老人が多くなるのでお互いに友達を作るようにして、明るい老後が送れるようにしたい。
- ・老人会に入るように勧誘

- ・認知症の人が安心して生活できる（地域の人での見守り）認知症110番のような活動、知恵を出し合って自治会加入を増やす
- ・一人暮らしの人が生き生きと生活ができる環境づくり、閉じこもりをなくすための支援（認知症予防）、趣味を生かした活動の紹介。簡単なスポーツ・体操の積極的な紹介のできる環境づくり（健康増進）

＜問7. あなたが生活する地域が、将来（およそ4～5年後）どの様な地域になるのが望ましいか、具体例をあげてご記入ください。＞

- ・「お隣さん」の顔が見える、分かるような地域になってほしい。個人の困りごとを一人で抱えてしまうのではなく、お互いに支え合えるような、人間関係の構築も重要になると思う。
- ・高齢化が進んでいると思うので、社会福祉協議会の事をもっと知ってもらい、出来るだけ誰もが住み慣れた地域でくらするように、子供達と昔の遊びが出来る様な又おしゃべりの出来る様な場所があったらと願います。
- ・地域福祉活動を推進する為に、懇談（親）会の実行。地区の各種団体、組織等と連携して、福祉サービスや支えあいの活動のコーディネーター。交通体制・基幹バス路線と生活交通のネットワーク化（福祉バス等の運行～生活交通の確保）。
- ・外で会った時、気軽に挨拶出来る関係になりたい。いろいろな組織に加入し相互関係を密に親しみを持って接することの出来る地域住民になりたい（自治会・老人会・子供会等）。諸事業（～まつり、～大会、～ふれあい…等々）に積極的参加し喜びを全員で分かち合える関係を持ちたい。
- ・高齢化社会はなおさらのことお互いがほどほどに確認しあえる事が大事だと思います（孤立予防の為）。
- ・コミュニティバスをもっとスーパー前や様々なお店や病院前に止まる場所を増やし、1時間の本数が増えたい。各自宅前のごみ出しが当たり前になって欲しい。
- ・自治会・社協・長寿会・子供会等がそれぞれの会が別行動ではなく手を割って協力しあい互いに声を掛け合う仲良く生活していきたい。子供の貧困が問題になっていますが、心の貧困を聞くと地域全体で取り組む組織が欲しいです。
- ・障がい児の親でも就労しやすい環境（保育園利用）・障がい者が単独で生活ができる、しやすいサービスの活発化。
- ・隣り合う家庭で（10世帯内）見守りや日常会話が出来る地域。健康な身体を持つ子供を育てる公園や広場がある地域。
- ・近所の付き合いや人間の関わりを重視した地域、伝統的な風習や習慣を大事にした人間味あふれた地域、子供からお年寄りまで、安心して暮らせる地域、子供など人に関心を持って見守っていける地域。
- ・老人世帯を含め自治会への加入促進が急務と思う。会食会については年1回であるがアンケートを実施しているが、結論的には継続していくことがベターと思われるが、高齢者である為、足の問題がネックであり送迎を考えてみたらと思います。
- ・安全である事、住民のコミュニケーションが良く取れる事、子供や年寄りの見守りがしっかりとれている事、年寄りも子供も元気で明るい事、防災対策が出来ている事。
- ・子供の遊び方を見守る大人（高齢者）がほしい、今、以上に人と人の交流が深まる事を望みます。
- ・自治会活動が年配の方だけに任せるのではなく、若い方々、子どもさんたち、みんながつながりを持てると思う。地域が子どもを育てるといった体制があると良い。
- ・生活困窮者への配慮がなされ、地域における活力ある生活が行われている状況。包括センターが身近にあり、拠り所になる場所の設置。
- ・お弁当を持って歩いて集まる場所があると良いと思います。
- ・災害時の時などを考えると日頃のお付き合いが大切だと思います。災害時の訓練など参加者が今より（自治会に入っていない人も）多くなれば良いと思います。
- ・65歳以上の人のボランティア活動をお願いしたい。
- ・いつでも参加できる場所（楽しめる所）。
- ・イベント等を通じて交流の持てる場所。
- ・障がい者向けの駐車場で、後ろにも扉が開けられるように配慮して頂けると嬉しく感じます。
- ・おっせかいにならないくらいに近所の人が、顔見知りになる。災害時に助け合えたり、防犯にもなる。

- ・お互いに気軽に助け合い安全で安心して暮らせる仕組・組織を持った地域。
- ・お互いに自立していることが一番ですが、困ってる人には手を差し伸べられる関係が作れたら良いと思います。
- ・お互いを尊重し合える良好な関係性のある町。
- ・お出かけの足の確保ができる街に。
- ・お店が増える。
- ・お年寄りがいきいきと活躍できる地域。
- ・お年寄りが安全に近くのスーパーに買い物にける様に道路の整備。
- ・お年寄りが元気で活動ができようになって欲しい。
- ・かわらず昔のままの座間。
- ・ゴースタウンにならない様に住民がお互いに助け合って明るい街になってほしい。
- ・お互いにもう少しやさしく、気配り合える地域でありたい。
- ・コミセンだけでなく、安全で子供達が集まりいつでも出入り出来る様な場所（家）があって、みんなで子育て、共に成長する様な環境があって欲しい。
- ・ごみなどが無い地域。
- ・コミュニティバスの増強。
- ・コミュニケーションを高め誰とでも挨拶ができる地域になると良いと思います。
- ・なるべく近所・近隣の方の交流が出来るような町内作りが出来たらよいと思います。
- ・ご近所の方々と、今以上に声を掛け合うことばができればと思います。子供の遊び場（砂場・遊戯）ができればいいと思います。
- ・ご近所様との「れんげい」を取り、何かあるときの手助け「れんらく」が出来るシステムがほしい。
- ・サークル活動、いろいろな相談窓口があること。
- ・子ども、年配者が集える地域に！！
- ・シャッター街の汚名を返上したいものです。夜の9時頃までお店に行っておつかいをしたいものと思います。
- ・スクールゾーンをひろげてほしい。
- ・すべての世代が学習できる社会。
- ・自治会役員の活動をもっと簡単にする。そしてお年寄りも、子供も楽しめる公共の場を作る。皆で何かを作ったり、無料で集い食べる事が出来るみたいな、参加すると楽しい、そういう地域が出来たらと思います。真面目に働いて、税金を納めている私達はそう思っています。子を産み志で安くしていけば活気が取り戻せると思っています。
- ・たくさんの商業センターができ、交通が不便にならないようにバスの便を多くしてもらい自家用車をつかわなくても良いようにしてほしい。
- ・どこにどの様なお年寄り、障がい者、その他が住んでいるのかという事を地域に住んでいる人達が共有すること。
- ・どこの地域でもすぐに参加できる場所がある。
- ・どんなに素晴らしい建物や取組みよりもまず人と人が支え合う関係づくりが第一だと考えます。身近な広場、居場所に人が集い顔見知りの関係が築かれ、そこに笑顔が自然にうまれるようなまちづくりができれば・・・そんな情景を思い描いています。
- ・ルディックウォーキング、ポールウォーキングを通して地域の人が定期的に運動をして元気にいつまでも歩ける高齢者が増えると良い。
- ・バス等交通が不便なので、市役所座間に新しくできた病院等に便利になるようにお願いします。
- ・バリアフリーの地域に。
- ・ひとつの課題に必ず解決の方策が示されている社会。将来像が示されていて、4、5年先はここまで進んでいるはずの情報提供がほしい。

- ・ひとり暮らしなので、何時に行っても人（担当者）がいる居場所があるといいと思います。
- ・おしゃべりサロンの様なものがありません。高齢化もありそんな場所があったらと思っています。
- ・みんなが挨拶をかわせる町。
- ・みんなが安心して住みやすい地域。
- ・みんなが明るくなる地域。
- ・みんなにやさしいまち。
- ・もう少し、自分のことだけでなく、周囲の人々にも目を向けて過ごせる環境になってほしい。
- ・もっと若い世代が地元で働く魅力を感じる街となってほしい。
- ・より住みやすい市。福祉関係をより良くして市民がずっと住みたいと思える市。
- ・安心して生活ができる地域、高齢者福祉の充実、施設の拡充、補助金、タクシー券の支給。
- ・安心安全・健康で明るい町。
- ・安心安全な地域。
- ・安全で環境面でも心配ない地域にしたい。
- ・安全で子供たちが安心してらせる事が一番です。
- ・体育室が充実な地域。
- ・多世代の方同士が集まれるサロンがあったらいいなと思います。
- ・移動サービス、ショートステイの事業所が増えること。またグループホームの施設が出来る事を望みます。
- ・移動手段の充実（コミュニティバス、路線バス等）により地域交流が気軽にできる地域になること。
- ・平均寿命ではなく健康寿命を伸ばせるよう、市民一人一人が意識を持って取り組みたいですね。
- ・医療面で充実した地域にしてほしい。
- ・一人住まいでも安心できる町。
- ・駅前の商店が活気のあるものになることを望む。
- ・皆が助け合いの精神でありたいです。
- ・学校給食にして欲しい。（中学校）
- ・介護者に心のゆとりと地域にかかわる機会が増えれば良いと思います。障がい当事者とボランティアが活発に交流できる地域になってほしいです。
- ・顔が見える地域。こどもや高齢者が地域でみまられる。
- ・企業誘致などで、若い人達が座間に居つく環境を整備していく事で地域を活性化させる。
- ・気楽に声をかけ合える地域であること。
- ・気軽に歩いていけるところにサロンがあることと、そのサロンが様々な機能を持っていること。早朝時の活用出来ることが望ましい。
- ・気軽に立ち寄れる場所が近くにあるといいなと思います。お茶を飲んでおしゃべりして少しの間ゆっくり出来ることです。
- ・居場所作りが進み、市民が生活しやすい地域になれば良いと思う。
- ・協力し合える（何事にも）地域であればと思います。
- ・教育が行き届いた市。
- ・近くに高齢者が気軽に集える場所。場所と支援者がいて週4日以上おしゃべりや読書等自由に過ごせる様な所があると良いと思います。
- ・世代交代ができ、色々な世代が豊かで幸せに生活ができるような地域になって欲しい。

- ・近所で助け合える地域。
- ・別の土地で暮らす子供が座間市に戻り生活することが一番いい事。高齢者になると免許の自主返納があるため、タクシーなどの通院費の助成。若者、高齢者、障がい者、安心して暮らせる街にしたい。
- ・近所に独居高齢者が多い。周囲の人が心配せずに暮らせるような環境。子どもも大人も高齢の方も元気、イキイキした地域。
- ・近所の人と笑顔で挨拶できる地域。みんなに話相手がいる地域。みんな困った時に相談場所がある地域。みんなが安心して生活できる家がある地域。誰かにSOSが出せる地域。みんなに必要な情報が届く地域。
- ・近所の人々の現状が何となくわかっていてここに住んでいて、安心だと思える様な地域。
- ・近所の世帯で団結し楽しく生活できるようにしたい。
- ・近所の方々が仲良くして何かあったら助け合える様にできたら良いと思います。
- ・近所間での交流。相手を思いやりながら生活できたら良いと思う。
- ・自治会に加入して最低限の交流があれば変わっていくのではないかなと思う。
- ・近隣と親しく挨拶を交わし、子供と高齢者が共に過ごせるような場、サロンなど。
- ・近隣の助け合いが強くなればよいと考える（現在はそうでない）。
- ・近隣住民との助け合いが必要だと思います。
- ・近隣同士の人々が挨拶や会話を楽しみお互いに思いやりを共有できるような地域になっていること。ニュースポーツ交流会を開催してみんなが参加され楽しみの場を作る。おしゃべりと会食会を開催してふれあい交流の場を作る。チャリティーカラオケパーティーを開催してみんなで楽しむと同時に年末助け合い募金に寄付していく。交流の場を作ると同時に自治会会員減少を防いでいく。
- ・人にも動物にも自然にもおおらかにいられる地域が望ましい。豊かで心に余裕がないと出来ないことだと思うので、ギリギリの生活をする人が減ればいい。
- ・空き家のない安心安全に暮らせる地域。
- ・元気な地域、ネットワークが出来ている（防災）。色々な行事があり、どんど焼き・盆踊りなど毎月あるとよい。自分の地域は自分で管理し、美化デーはなるべく参加することが愛着がわき人の顔がみえてくる。出来ること、出来ないこと区別し人まかせにしない。
- ・障がい者、高齢者が安心して暮らせる、緊急時における対策が欲しいと希望します。目と耳に障がいを併せ持つ盲ろう者に対しての福祉向上につながる制度の確立も併せて実現できると良いと思います。
- ・現在以上に、お互いが、積極的に触れ合う機会を意図的に持つよう心がけるような地域になって欲しいと思います。
- ・現状継続！恵まれた地域環境でとても居心地が良かったです。
- ・孤立する老人を見つめられる地域。
- ・孤立のない、世代間の交流、気軽に人々がお互いを知り合って、一人ひとりも自分の状況を秘密にしないでも、安心して生活ができる。オレオレ詐欺などにつけ込まれない、信頼できる社会にできたら良いと思います。とにかく、子育てを早く援助して虐待を防止してお母さん達もより良く導いて欲しい。
- ・孤立孤独者のない様、隣近所の連絡を密にする。
- ・故郷と呼べる地域。
- ・互助、共助のできる地域。
- ・交通の便が良くなる。
- ・交通手段が乏しいので、福祉タクシー、高齢者のサービス券が欲しい。
- ・公園がたくさんの子供達達の遊び場になる！近くに昔の駄菓子屋さんがあったりと、何らかの形で大人の目が届いていたら素敵。ボール遊びの解禁。

- ・公園が増える。高齢者に交通費の無料チケットなど配布する。温水プールの設置。
- ・行きたい場所へ気軽に行くことができる交通手段を見つけることができる町。
- ・高校生まで子ども支援の延長。ゴミのばい捨て罰金の町。
- ・高齢化が進んでくるのは確実なので高齢者に対する取組が大切ではないかと思う。
- ・高齢化しているので、お互いに困ったときは助け合えるような地域が望ましい。(高齢者や若い世帯の人も含めて)
- ・今ある制度を積極的に利用してもらい、欠点や使いにくさあれば、声をあげてもらい、それをキャッチする受け皿のある地域になればと思います。
- ・住民の子や孫たちが入ってきて、地域を活性化してほしい。
- ・いつも安全で楽しく生活が送れる地域を望む。
- ・市役所まで行かなくても、誰でもいつでも相談できる場所を作って欲しい。
- ・日頃の地域活動中から、高齢者の一人暮らし、老夫婦のみの所帯の現状を把握して、何でも相談ができる地域。
- ・国が若い方々の力を借りられるよう、予算を多く取り、給料を上げボランティア精神に甘えるのではなく、保障をしっかり取るべき。気持ちよく若い力が発揮できるようになって欲しい。
- ・高齢者、独居の人が地域と何らかつながりができるような環境。
- ・高齢者・障がい者がいつでも集まれる場所がほしい(サロンをもっと日程を増やす)。
- ・高齢者が安心して住めて心のよりどころとなる施設の建設を期待したい。
- ・高齢者が楽しくイキイキ生活していただくために、近くに無料の施設があればありがたい。
- ・高齢者が気軽に集える場が欲しい。
- ・高齢者が孤立せず交流の場所があること。
- ・高齢者が住みやすい地域。
- ・高齢者が助け合っていけるようになる。
- ・高齢者が少しでも外に出られるようなサロンがあるといいと思います。
- ・高齢者が生活するのにより良い活動をお願いします。例えば介護・買い物難民を助ける活動をお願いします。
- ・高齢者が多いので、近所の助け合いがプライベートを尊重した上で必要かと思います。
- ・サロンで皆さんとふれあいは良いと思います。常時ふれあいの場が地域に有れば皆さん集まると元気が出ると思います。
- ・高齢者が多くなり近所の人との交流が多くとれるように交流が出来る地域になっているとよい。
- ・公民館や役所関係の場所をサークルや交流の場所として月曜休館にならないよう毎日開放にして欲しい。
- ・高齢者が買物や通院に不便がなく、地域交流ができる環境である。近くに公園があり子供の声が聞こえる。孤立することなく隣近所が分かる自治会。
- ・高齢者が買物難民にならないように。
- ・何か外に出て誰かと関わる場を作って(あまり責任のないボランティア作業)等で、地域に貢献している喜びを感じられる明るい地域になって欲しい。
- ・高齢者と若者の交流が多くあると良い。
- ・高齢者にも若い人にもコミュニケーションを大切にしたい。地域の顔見知りを増やし助け合う場所(サロン等)を作ってほしい。
- ・高齢者に優しい地域。
- ・高齢者も子供もいる地域ゆえ、相方が協力して活動を行っていきけるような地域。子供とお年寄りの交流会・昔あそび教室・塾のような書道とか編み物などの教室・短時間の保育・子供会と敬老会の合同イベント。
- ・高齢者看護に関する十分な体制の確立と生活困窮者の支援体制。

- ・高齢者施設がたくさんできて、そこで集まれたらいい。
- ・高齢社会になって行くので、昔のようにご近所の方々と親しくおつき合いをし、助け合い、地域（自治体）が一体となった環境作りが必要ではないか、子供・障がい児・障がい者が自由に出入りできるフリースペースが地域ごとにあったらどうでしょうか。
- ・高齢者相互の交流がある地域になる。
- ・高齢者地域になっているので、若い方の移住で子どもたちがたくさんいる環境が欲しい。
- ・高齢者福祉の充実。
- ・今のままで良い。
- ・近くに居場所があったらなと思います。空き家などを再利用してはどうでしょうか。
- ・昔の様に地域が活発になれば相互扶助の精神が生まれ挨拶し子供を見守り高齢者や障がい者に声かけや手助けできる人々が多くなると思います。
- ・今まで以上に、住みやすくバリアフリーに。いまは道路がでこぼこです。
- ・今後は特に高齢者が多くなってきておりますが、地域交流の意味で、声かけ・孤立・孤独にならないように、隣近所のお付き合いの中で、しっかり交流がされるように望みます。
- ・困った時に相談出来る場所や、支えあえるネットワークが構築されている事を希望します。
- ・差別や偏見のないあたたかな地域。自然に助け合えるようになると良いと思います。
- ・座間で育った子供達が楽しい思い出が残る郷里になればいい。そのために新しいイベントをするより、昔からの行事とお年寄りから引き継ぎ若い親子が参加し、伝えていくというのがあってほしいと思う。
- ・座間にももう少し商業施設ができて欲しい。
- ・小松原地区にも、小学校があれば良いと思います。
- ・座間駅前周辺に生活に必要なお店が集結してくれることを望みます。
- ・座間市がもっと世間にモデルになるような取組。エコタウンとか、障がい者には無料のタクシー制度。市内の最高速度は30キロにし、事故が減るなど。
- ・高い所、低い所の利点を生かして有効利用を上手く考えよりよい街への開発を進めていることと思います。多種多様な生活体制の中で地域に根づいた方も、外からいらした方も、お一人暮らしの方も、共に支え合い、共に共有できる場を、いきいきするお手伝いを、当たり前との考えを全ての方がもてるあたたかな地域に出来たらと願い1歩ずつ私も踏み出してみます。
- ・お年寄りや身体の不自由な方、障がいがあって車の運転が出来ないかたも、不便なく過ごせるよう交通の便を良くしてほしいと思います。
- ・老人の憩いの場所が多くできればよいです。
- ・災害が起きてても被害が少ない地域。
- ・災害時などに災害弱者となるだろう高齢者・障がい者・子どもとその家族が避難するのをためらわないように、準備ができていと今後起こる可能性の高い大災害の時に安心だと思います。具体的には、学校などで避難したときに、段ボールベッドがあれば、高齢者や足の悪い人などには、体の負担も柔らかげられると思います。他地域と連携をとって非常時に助け合う仕組みを作っておいてほしいです。
- ・災害時の役割分担がはっきりできている。（スムーズな避難行動）
- ・災害時、障がい者・独居高齢者支援体制の確立（早期に）。
- ・三川公園のような遊具のある公園がほしい。
- ・子ども、高齢者、障がい者、貧困者など、誰しもお互いに少しずつ迷惑を掛け合い助け合える地域を望みます。
- ・子ども会や長寿会・自治会・地区社協がそれぞれの活動する中で協力し合える様な地域独自のイベント的な催しがあってほしい。役員だけでなく地域住人が楽しんで生活できる空間作り。

- ・子どもが自由に遊べるところをできるだけ多くつくってほしい。
- ・子どもの声が聞こえる地域、老人と子供が関わって暮らしていける地域（自治会の催し・お祭など）。
- ・子どもの遊び場が身近にある地域。地域のことは地域住民が主体者である自覚をもって率先して解決しようという意識をもってとりくんでいる。
- ・子どもや、障がい児が住みやすく、安全な所になってほしいです。
- ・子どもや高齢者が楽しく交流でき、独居老人の支援がしっかりできる町であればよい。
- ・子育てがしやすく安全な地域、公園の整備、防犯カメラの設置、バスの本数増。
- ・子育てしやすい。高齢者が出かける所、気軽に入れておしゃべりやお茶が出来る。子供と高齢者の交流の場をつくる。
- ・子育て中や高齢者の方々への助け合いの仕組みが地域できめ細かくフォローできている地域。
- ・子供・高齢者・子育て中のママなどが自由にいられる居場所があり、地域で子供を育てていけるような街。
- ・子供から大人・高齢者・障がい者、皆家族であるような気持ちで助けあえたら良いと思います。
- ・子供が少なくなり各世代の繋がりが希薄になりつつある今が、社協、自治会を通じて交流が増える様になる事と、思いやりのある地域になって欲しいです。
- ・子供が増えると良いと思います。子育て支援等の充実で。
- ・子供が遊べる場所が増えてほしい。
- ・子供たちや老人と一緒に集うところがあったらと思います。
- ・子供と高齢者が積極的に交流を持てるような取り組みがされている。
- ・子供にとって良い環境、高齢者が生き生きとして過ごせる。
- ・子供の元気な声が響く街。
- ・子供の多いにぎやかな地域。
- ・子供や高齢者に優しい街づくり。
- ・子供医療が中学生まで延長。土日に家族で参加できるイベントがたくさんあると嬉しい。
- ・子供達が安心安全に育つ環境と若い人が希望を持てる社会と家庭であれば理想的。60代～80代が地域や社会で少しでも役割をもてること。個人が健康第一と認識して生活するなど小さなことを一歩ずつ進めたらいいかと思います。
- ・子供達の声が聞こえる町。せめて自治会の単位は顔見知り、挨拶のある関係で。
- ・市の行事等にたくさんの市民が訪れ、自然体で物事に取り組んでいくような市になって欲しい。
- ・支援を必要とする人、子供を地域で見守ったり支援することのできる地域。
- ・人間関係を円滑にし、万が一の場合には助けあえる近隣作りが出来たら良いと切に願っています。
- ・高齢者を見守り手助けあえるような地域コミュニティができれば助かります。
- ・自治会の加入者が増え隣近所で声掛けができるような地域。
- ・自治会活動が活性化され、世代間交流が活発になることによって子育てがしやすい環境。
- ・自治会、子ども会の充実。負担にならないよう誰でも加入できる、加入したくなるような地域。高齢者・障がいのある方・子供達、自然に挨拶、声掛けができる地域。
- ・自助、互助、共助と充実したコミュニティーが形成されることを望みます。（老後の安心）
- ・自然に暖かい心の交流がもてる様な楽しさが感じられる地域がつけられるとうれしいです。押しつけない自治会の活動や、本当に心から喜べる手助けが必要かと思う。お年寄りと子供達が仲良く一緒に遊べる場が近くにあり、気軽に立ち寄れる雰囲気求めたい。
- ・自然災害等に対応できる地域住民と交流のある町。

- ・自宅で最後までいられる地域。
- ・自宅周囲は高齢者世帯が急増中。若い世代の方々と交流が図れる世の中であればと思っています。
- ・自分がどの年代になっても、誰か（又は団体）と協同して助け合える地域。
- ・自分たちの地域課題を市や誰かに頼らず自分たちで解決しようとする住民が増えている状態。
- ・自分の意見を述べ合い、それを皆で実現していける地域にしたい。
- ・自分を含め高齢化が一段と進み若い人達に迷惑を掛ける事が少なくなる様な社会生活を送れる様、介護等も受けやすい地域になるように望みます。
- ・社会的弱者となる子供や障がい児・者にとって住みやすい地域であるようになるのが望ましいと思います。地域の人々の意識がより彼らに近づくといいなと思います。
- ・若い人が増えて老人も楽しめるような町。独り者が暮らしていけるような町。
- ・若い人達が多く子供たちの元気な声が聞こえる地域であって欲しい。
- ・若い世代の世帯が多くなり、子どもの声が聞こえる街。
- ・若者が年配世代の人たちと交流し助け合いが出来る地域。
- ・若者と子供が増える状況。年寄が安心してくらせる地域。
- ・弱者に目の行き届く地域。
- ・弱者のため、人がチームになって動ける地域であってほしい。
- ・近くに病院が欲しいです。もっと、地域のコミュニケーションを取れる場所があると、住みやすいと思います。
- ・住み良い街づくり、歩道の整備・段差の解消、緑豊かな自然の保全、ボランティアによる高齢者支援。
- ・住民が協力し合って高齢者の見守りと子供たちの健全な成長を見守って安全安心な地域になること。
- ・交流の場、交流の時を考えられたらと思います。自治会連合会に働きかけ自治会活動のひとつに”サロン実施”の位置づけをしてもらい、年間行事に組入れてもらえたらと考えています。
- ・住民の高齢化が進む中、高齢者が心身ともに「生き生きと」活動できる環境の整備（ハードとソフトの両面で）。
- ・重度の障がい児が卒業後に入所・通所できるような施設が充実しているといい。高齢者に関しても同じです。
- ・商業施設の多い街。
- ・小人・大人・高齢者が元気で過ごせる地域。
- ・小中学校における支援学級の充実（クラス増、教育増）がされ、比較的軽度の障がい児も手厚く教育を受けられる・地域となってほしい。
- ・少しずつでも困る人・事を減らし、少しでも自分以外にかかわる事に時間を割ける人を増やしていくような地域。
- ・笑顔あふれる地域。
- ・障がいのある人たちのホームと通所先の連携のとれた安定した生活ができる。
- ・障がい児・者の物理的、精神的バリアフリーがさらに進むこと。地域でお互いがもっと関心を持てるようになること。
- ・障がい児が暮らしやすい地域。もっと支援の幅を広げてほしい。公立校にも看護師の配置。
- ・障がい児者が、地域の中で普通に生活している地域。偏見、特別感のない生活。
- ・障がい者・高齢者・子育て世代・単身者にやさしい地域になるようなコミュニティが出来ている地域を望みます。
- ・障がい者が地域であたりまえに楽しく暮らせる地域。
- ・障がい者の緊急避難場所が整備される。
- ・障がい者や老人など弱者と思われる人も生活しやすいよう、相談窓口や人員などを充実して頂くようお願いしたい。
- ・障がい児対応の学校や施設を増やして、子供たちが偏見のない生活を送れるようにして欲しいです。
- ・障がい者が暮らしやすい、明るく楽しい地域を目指したい。

- ・障がい者の施設（日中活動の事業所、グループホーム等）の建設、運営に地域の方が協力的であること。障がい者も高齢者も自分の能力、体力に応じて働くことができること。
- ・障がい者も健常者も同じ様に差別の無い日常生活が送れるように。小さい子供や未成年者で支援が必要な人はきちんとしたプログラムの元で支援が受けられるように。特に幼児の場合もグレーゾーンでも早い時期から状態に見合った支援を望む。
- ・障がい者やお年寄りが相談しやすいように対応してほしい。
- ・障がい者制度の自治体格差が無くなると良いと思う。
- ・子供から大人まで参加できる場の情報を皆様に伝えたい。伝えることでコミュニケーションを取り、顔を知っている人が多くいる地域にしたい。福祉でも、子供～お年寄りの人と幅広くみんなで参加できるような地域が望ましい。
- ・新しく住む人にも親しみやすい近所付き合いをしていて、コミュニティーセンターに集い、イベントが沢山出来る地域になっているのが望ましい。
- ・神奈川の代表的な市にしたい。
- ・社協と市役所が正副の役割で一緒に地域活動を応援・支援していく体制が必要で、地区社協の拡充が求められると考えています。
- ・人々が望んでいたことができるようになっている地域になって欲しい。
- ・世帯単位での生活を越えて、地域での共生する地域になるのが希望です。
- ・世代を超えて、気軽に集える場所があり、悩みや迷っていることなどお互いに話すことができる、お互いに情報交換ができる等々、そんな所があったら良いと思う。
- ・世代を超えて仲良くしていけたらと思います。子ども会と老人会が交流をする、遊びを教えたり（老人）、パソコンを教えてもらったり（若い人から）（たとえばだんご作り等）。
- ・世代間で挨拶が出来る、顔がわかる地域。
- ・世代間を越えた交流が増やし、若い世代が福祉を身近に感じられる地域。若い世代も立ち寄りたいと思えるサロンの普及。
- ・世代間交流が活発に行われている地域。
- ・昔のようなコミュニケーション豊かな地域。
- ・昔のように、皆が顔見知りになり、気軽に声をかけられる環境。
- ・昔の日本の田舎のように「となり近所」親しく助け合って暮らしてゆきたいですね。
- ・全ての子供たちが豊かに、そして平等に教育を与えられるようになってほしい。
- ・全ての人が同じ土俵で繋がりを持てる地域社会。
- ・全世帯が自治体に参加し安心、安全な街づくりを目指したい。幼い子供から高齢者、障がい者の方が少しでも笑顔で暮らせる地域となるよう日々努力したいと思います。
- ・日常の買い物やゴミだし等、近隣で手伝えたり声掛けあう昔ながらの近所付き合いができる街。
- ・多様な世代が交流出来る地域。
- ・体が不自由になったり、認知症になったりしても、地元で暮らせるような（なるべく家族に負担がかからないような）仕組み。
- ・待機児童がない地域。（女性も働きやすくなる）障がいや高齢者の理解を地域全体で深め、暮らしやすい地域。
- ・大人たちが地域の子供たちの安全な生活を見守り、注意なども含めて声をかけられると良いと思う。
- ・第1次ベビーブームの世代が70才以上となる中で健康を維持できる器具、施設を安く利用できる場所の提供、散歩・ジョギングを安心して（車の交通のない）出来る場所の確保。
- ・誰だけではなく”ともに生きる”全ての人が生きやすい社会になるよう。理解が広まっていくといいなと思います。

- ・誰でも参加できるコミュニティセンターを利用した運動を増やして欲しい。
- ・誰もが安心して暮らせる地域、声を掛け合える地域。
- ・誰もが生きる不自由なく暮らせる町。
- ・地域に住んでいる人、みんなが顔見知りとなり、挨拶や立ち話ができるような環境。
- ・地域の人々が交流し顔見知り同士になり、困ったときは助け合えるようになること。
- ・地域の人々が顔見知りで挨拶が交わること。好きな日、好きな時間に集い、軽食やおしゃべりする場所がある。スポーツ、ボランティア等活気のある地域へ活動の環が広がる。
- ・地域の人々が交流し合い、若い人も高齢者も障がい者もお互いに暮らしやすい地域になってほしい。
- ・地域の人達がもっと交流できること。
- ・地域の中で障がい者が安心して暮らせることを望みます。
- ・地域の中で生まれ育った人と転入された方が共に地域行事が楽しめて世代間の交流があること。
- ・地域の方の顔がわかりお互いに声をかけあい何かあれば（災害等）助け合える関係になれるようにしたい。
- ・地域の方々と顔を合わせたらお互いに挨拶できる様なコミュニケーションのとれる社会。困っている方がいれば、手をさしのべることのできる助け合いの社会。
- ・地域交流の場が多い、コミュニケーションが取りやすい地域。
- ・地域行事を通じて住民がつながりあい、日ごろから声をかけ合うことが常識になる地域。
- ・地域全体で子供や高齢者の方々に対して見守っていると感じられるような環境の座間市になって欲しい。具体的には、認知症サポーター養成を学校や大規模商業施設、商店街などでもっと頻繁に行う。また、教育ボランティアを学校や地域で活用できるようにする。
- ・地域内で交流場所に集まり、楽しく過ごすことができたらいいと思います。
- ・地域内で世代を超えて交流でき、安全で住みやすい、街になっていて欲しいです。とくに災害時などでも協力しあえ、共存していけるような関係が築けると安心です。
- ・地域内の交流が広がると良いと思う。
- ・地域内の高齢者がみんな助け合い、楽しい生活を過ごせる地域になることを望んでいる。買い物のお手伝い、家庭のお手伝い、サロンの開催、健康のための体操等を行い、地域内の健康寿命を少しでも延ばしていきたい。
- ・給食センターを作っていただき中学校も給食になると働く保護者も子育ての面でとても助かると思います。
- ・徒歩で買物に行ける。拠点的になるサロンのようなものが近くにある。
- ・働く女性を積極的に応援できる地域。
- ・道がきれいな町。
- ・交通安全、子どもの通学路の整備が必要。
- ・道路や施設などのバリアフリーが進み、世代間交流が行われていることが望ましいと思う。自治会などを通して、高齢者が小学校・中学校を訪問して触れ合うなど。
- ・日常的に健康な高齢者が集える場所を地域に確保。
- ・年代を問わず地域に仲間作りの場があり皆が無理せず、ささいな事でも出来ることをして支え合える地域。
- ・買物に便利になって欲しい。街灯をもう少し増やして欲しい。
- ・犯罪が減る。
- ・不自由な人が気軽に外出できるように地域全体のバリアフリー化を望みます。公共施設や商業施設などにユニバーサルベッドや大型の車いすが利用できるエレベーターがなかったり、車いすスペースが無いまたは駐車出来ないなど。
- ・福祉が発達し住みやすい街。

- ・福祉に手厚い市。ピアサポートやピアカウンセラーの充実。高齢者、障がい者、ホームレス、世代間の交流の問題を市民と市が手を取りあって助け合える市になる。
- ・福祉に力を入れ住みよい町になるように。
- ・福祉を充実させた社会。
- ・保育園・児童ホームなど子育ての場の充実。
- ・防犯防災についてつながりができれば良いかと思います。いろんな立場の方が接する機会があればと思います。
- ・地域の人達が自分たちの街である事を感じられるために、美化活動（ゴミ、花植え）、みんなが気軽に集まれるオープンカフェのようなものを取り入れた施設（建物）の開発。
- ・かつての大家族のような時間や場所が持てたら、地域も元気になってくるような気がする。大勢の知恵を集めて欲しいと思う。
- ・また、高齢者も働く意欲のある人はいくつになっても働ける（参加する）場があり、人の為に役に立て、QOLも高められる地域。
- ・様々な行事や災害時の対応などに対して、世代や地域を通じて広くコミュニケーションが深まっていてほしいと思います。
- ・隣近所の人たちの交流がはかられ、明るく楽しい地域であってほしい。
- ・老いても今の場所で生活したい。
- ・老若の人々が一緒に過ごせる様な地域になってほしい。
- ・老若男女誰もが幸せに暮らせる地域。
- ・高齢者向けの割引タクシー券や買い物サポートの役割が必要。
- ・座間市はバリアフリー障がい者支援など良いものを増やして欲しい。
- ・地元のコミュニケーション作り。若い人と年寄りが気軽に話せるサロンがある地域。

2 ヒアリング調査の結果（地区社会福祉協議会）

	日常生活圏域	第1圏域	第2圏域	第3圏域
1	子ども、子育て、若年層 ----- 地区社協には子育て世代の参加はありますか？	<ul style="list-style-type: none"> 子ども会との関わりが大きいが以前より規模は縮小。 地区によって参加不参加が分かれる。 すいかわり、もちつき、ハロウィンイベントなどがある。共同イベントでは地区社協メイン。 	<ul style="list-style-type: none"> 行事への参加は少ない。外に出てきていないのではないかな。 習い事などが優先される。 地区社協事業は高齢者が中心となっているので子どもの参加が無い。 役員をする親がいなくなり、子ども会が無くなった。 	<ul style="list-style-type: none"> 以前より子どもが減っている。行事以外で触れ合う機会はあまりない。外に出る子どもが減っている。 役員のなり手がおらず子ども会がなくなった。 どう関わればいいのかわからない。課題も把握はできず、情報不足を感じる。
2	障がい ----- 地区社協の活動に、障がいのある方は参加・参画していますか？	<ul style="list-style-type: none"> 施設があり、一緒に会食会に参加。 自治会として、施設のイベントに参加。 精神科の病院に通っている方がサロンや夏祭りに参加。 障がい者の宿泊施設と連絡をとった事がある。 サロンで精神障がいの方との関わり方を学んだ。 	<ul style="list-style-type: none"> 障がい者施設や作業所が地域にあるため、施設を利用したりすることで参加・参画がある。 地域には、もっと、障がいのある方がいるのではないかな。外に出てきていないのでわからない。 	<ul style="list-style-type: none"> 障がいに対する知識不足を感じる。 作業所でのお祭りに参加したりする機会はある。 民生委員の方は障がいのある方のご存知だと思う。 障がいのある方がどこにいるのかわからない。情報があれば見守りなどの関わり方ができると思う。
3	高齢 ----- 地区社協では高齢者の孤立・孤独に対して何か取り組んでいる事はありますか？	<ul style="list-style-type: none"> おしゃべりサロン、ゲームサロン、サロンいこい、食事会、入湯会が高齢者対象。 長寿会がサロンをやっている。 自治会なども会食会をやっている。 高齢者が多く、会食会や研修会では対象をしぼる必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者を対象とする事業は多く、家から出てきてもらう参加型や、お祝いを渡す形での訪問型、緊急時声掛けマップを利用した見守り型・花をツールとした総合型（参加・実践・見守り・美化）を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 一定の年齢に達した方にお祝い品を渡している。 サロン活動を行ってはいるが参加者はあまり変わらない。どのように情報を発信していくかが課題。 施設の方をお祭りなどの行事に招待している。
4	その他 ----- 上の3つ以外の人たちで、地区社協として関わっている人たち、支援が必要だと感じる人はいますか？	<ul style="list-style-type: none"> 地区社協では把握していない。民生委員の方が詳しいのでは。 相模が丘は外国人が多い。 外国人の親子が子ども会に入りたいという相談があったので、案内したことがある。 	<ul style="list-style-type: none"> 自治会に加入している外国人の方が地域に居る。 外国人同士のつながりがあり、特に支援を必要としていないようだ。 	<ul style="list-style-type: none"> 移動困難者の方への対応が難しい。 外国人の方はいると思うがあまり関わりはなく、支援が必要かどうかまで踏み込めない。
5	地域活動 ----- 地区社協としての情報発信に関して取り組んでいることや、活動拠点の整備に関して取り組んでいる事はありますか？	<ul style="list-style-type: none"> 地区社協だよりをだしている。 活動拠点はコミュニティーセンター、老人憩の家、北地区文化センター、自治会館を使用している。 さくら亭を新しい活動拠点として、立ち寄れるような場所にしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 紙媒体での発信が主になっている。方法は、回覧や掲示板、全戸配布、新聞折込と多様である。 地域の自治会館、コミュニティーセンター、施設、公園などを利用。他には地域の施設を利用している。 	<ul style="list-style-type: none"> 情報発信は主に回覧板を用いているため、自治会に加入していない方への情報提供が難しい。 活動拠点は自治会館が主。行事の際に広場などを使用する。活動拠点は特に必要性は感じていない。
6	防災 ----- 地区社協では防災・防犯意識の向上に向けて取り組んでいる事はありますか？	<ul style="list-style-type: none"> 防災訓練は地区社協または自治会。 自主防災会があるところもあるが、活動していないところもある。 新しく避難所開設訓練を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 防災・防犯に対する意識は高い。 自治会と協力してパトロールを行い防犯に努めている。 防災講座などを行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 自治会を通して防災の講義が行われたりするが地区社協として行っていることはない。要請があれば協力や参加をしている。 防災や防犯は意識として高い。 見守りや防犯パトロールを行っている。
7	ボランティア ----- 地域の中にボランティア活動をしている人はいますか？どのような世代の人がボランティア活動をしていますか？	<ul style="list-style-type: none"> 相模が丘には登録者400名程度の団体がある。 カーサ相模台の見守り活動。 地区社協では登下校の見守り活動。 地域でどんな活動をしているのか、地区社協では把握できていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 障がい者施設があり、ボランティアをしている人も多い。美化活動が主になっている。 定年退職した男性の参加が少ない。ボランティア、役員の成り手になってほしいと期待している。 	<ul style="list-style-type: none"> 具体的に地域の中での活動はわからない。 ボランティアはしたいが情報や時間が足りておらず、活動に至っていないのではないかなという意見もあった。

日常生活圏域		第4圏域	第5圏域	第6圏域
1	子ども、子育て、若年層 ----- 地区社協には子育て世代の参加はありますか？	<ul style="list-style-type: none"> 参加はほぼない。 子どもを対象にしたイベントはあるが親子参加は少ない。 中心は自治会や老人クラブ。共働き家庭が多く、声をかけにくい。「地区社協」という組織自体の認知度が低いのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> 地区社協としては活動していることはないが、イベントへの参加は見られる。子どもは少ないように感じる。 高齢になって引越していく世帯も多く、後に入ってくるのは若い世代が多い。 近隣に同世代の仲間が居ない、もしくは見つけづらいのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> 活動はある。子ども会や自治会でやっている。 子育て世代の参加は意欲的ではない。 子ども会がない地域もある。 地区社協の活動の中で子育て世代が参加しているものもある。 働きかけが行えていない地区も多い。
2	障がい ----- 地区社協の活動に、障がいのある方は参加・参画していますか？	<ul style="list-style-type: none"> ほぼない。 障がいがある方がどれだけいるのか、把握していない。把握しても関わり方がわからない。行政や民生委員・専門職との関わりがあると思っっているため、積極的に関わりを持っていない。 	<ul style="list-style-type: none"> わからない領域である。 イベントなどで声をかけても同居の家族に関わりを拒否されることもあった。 これまで関わりが少なかったことで、関わり方が分からないし、当事者たちにとっては住みにくいと感ずるところもあるのかもしれない。 	<ul style="list-style-type: none"> 活動に参加していない。 障がい者がどの地区にどれだけの情報がない。隣近所の把握に留まる。 座間養護学校があるが、地区社協としては活動はない。 情報の開示などもなく、どう接して良いかわからない。
3	高齢 ----- 地区社協では高齢者の孤立・孤独に対して何か取り組んでいる事はありますか？	<ul style="list-style-type: none"> イベントを開催している。独居や老老介護をしている世帯を中心に、民生委員の協力を得て参加を促している。 定期的な見守りや年間を通じた活動を行うには、活動拠点や人材が足りない。地区社協単独では難しい。 自治会に加入しない高齢者世帯が増えてきている。 	<ul style="list-style-type: none"> 夕食配膳やサロン、見守りにつながる活動をしている。 SOSが出せない人など、近所とも繋がっていない家は気づけないことも多い。 近所 2～3 件隣くらいは付き合いを持っている地域になってほしいと思うが、それにつながる活動にはたどり着いていない。 	<ul style="list-style-type: none"> サロンや事業で取り組んでいる地区もある。地区社協の活動としては手薄。 事業に参加するのが当たり前になっている所がある。参加の有無で見守りの機能を果たしている。事業内容のマンネリ化を感じる。 独居老人や引きこもりなどが、参加してくれない。
4	その他 ----- 上の3つ以外の人たちで、地区社協として関わっている人たち、支援が必要だと感じる人はいますか？	<ul style="list-style-type: none"> 外国人は年々増加しているが、自治会に加入していない。地域活動の意味合いを伝えるのが難しい。 成光学園イベントなどへの案内を出しているが、関わり方に悩んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> 他に支援が必要な人が想像つかない。 ゴミ屋敷、ゴミを漁って食べる外国人など、気になる人はいるが、地域で注目しているというより、個人的に気になる程度に留まるところとなっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 買い物難民は一定程度いるのではないか。 外国人でアパートに住んでいる人はいる。自治会には加入していない。 基地周辺の外国人もいるが、地域の活動には参加していない。 どのように情報を知なのか、手段がわからない。
5	地域活動 ----- 地区社協としての情報発信に関して取り組んでいることや、活動拠点の整備に関して取り組んでいる事はありますか？	<ul style="list-style-type: none"> 取り組めていない。必要性はわかるが手が回らない。 自治会に加入していない世帯への情報の伝え方に悩んでいる。 活動拠点があればと思うことは多いが、その場に常駐できるほどの人手もない。拠点整備の前に協力者を増やすことが課題である。 	<ul style="list-style-type: none"> 拠点が無く、集まるのが難しい。拠点は欲しいが、どう作ったらいいかで足踏みしてしまう。 情報発信として、自治会にポスター掲載や回覧を依頼、口コミも有用であると思う。民生委員や自治会など、口コミの威力は感じるが、つながりの無い人にはどう届けたいのか、取り組みを行ってはいない。 	<ul style="list-style-type: none"> 講演会、回覧板など情報発信しているが、自治会員が中心になってしまっている。 集会所が不足。テーブルで座って集まれる場所がほしい。コミュニティーセンターの有無で地域差がある。活動拠点確保の取り組みには至っていない。
6	防災 ----- 地区社協では防災・防犯意識の向上に向けて取り組んでいる事はありますか？	<ul style="list-style-type: none"> なし（自治会が行っている活動に地区社協として協力する場合はある）。 要援護者の情報なども自治会が把握しているため、地区社協が積極的に活動する必要性は低いと考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> サロンで防災をテーマに取り上げて、ざま災害ボランティアネットワークに協力してもらった。 防災をテーマとして住民同士話を深めることはする機会はなかった。 地区社協として防災に取り組むことは難しいので、自治会と協力体制をとってやっていけたらと考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> 取り組みがない地域もある。 防犯、防災は自治会の印象。 啓発用に回覧板が回っている程度で、具体的に意識した取り組みはみられない。 個人情報がかせになり、取り組みが難しい。
7	ボランティア ----- 地域の中にボランティア活動をしている人はいますか？どのような世代の人がボランティア活動をしていますか？	<ul style="list-style-type: none"> 把握していない。 昔はその地域の人とその地域で活動することが多かったが、今は範囲や対象を限定していないことが多いため、地域で把握することは難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> 目に付かないこともあるからか、よく分からない。 ボランティアという言葉自体がハードルが高く、特に若い世代は仕事と子育てで地域の行事に出るだけで精いっぱいなのではないかと感じる。 	<ul style="list-style-type: none"> 個人でやっている人はいる。サロン運営をしている所もある。 活動をしている人がいるのは知っているが、どんな人がやっているかまでは把握していない。地区社協との接点が無い。 世代は 60 代、70 代、若い人はみかけない。

3 ヒアリング調査の結果（地域包括支援センター）

<実施日>

- 平成 29 年 1 月 23 日（月） 座間市ひばりが丘地域包括支援センター
- 平成 29 年 1 月 24 日（火） 座間市相模が丘地域包括支援センター
- 平成 29 年 1 月 24 日（火） 座間市相武台地域包括支援センター
- 平成 29 年 1 月 25 日（水） 座間市立野台地域包括支援センター
- 平成 29 年 1 月 26 日（木） 座間市栗原地域包括支援センター
- 平成 29 年 1 月 26 日（木） 座間市新田宿地域包括支援センター

<地域の特徴>

- ・相模が丘地域はさくら道を中心にした地域の取り組みがされている。新生さくら道の会の人たちが積極的に取り組んでくれている。
- ・新田宿や四ツ谷方面は交通事情が悪く、高齢者の日常的な買い物や通院等が課題になっている。
- ・坂が多い地域では高齢者や障がいを持った方が生活しにくい状況になっている。坂によって生活圏が分かれる事にもなっている。
- ・地域活動を積極的に取り組んでくださる方がいる。頼りになる存在でもある。
- ・昔から住んでいる方たちや同時期に転居してきた方たちはご近所同士のコミュニティが作られて助け合いができてい様子がある。
- ・同時期に入居した古い住宅地で高齢化が進んでいる。大きな家に一人暮らしの人もいて、生活に課題が出てきている。また、古い団地でも高齢化・一人暮らしなどで課題が出てきている。特にエレベーターのない団地では問題が大きい。
- ・認知症に関する相談が増えてきている。認知症状が悪化してからの相談になると拒否が強く関わりが難しい。
- ・複数の課題が混在している相談や関わってくれる親族がいない一人暮らし高齢者、高齢者夫婦の対応が多くなってきている。

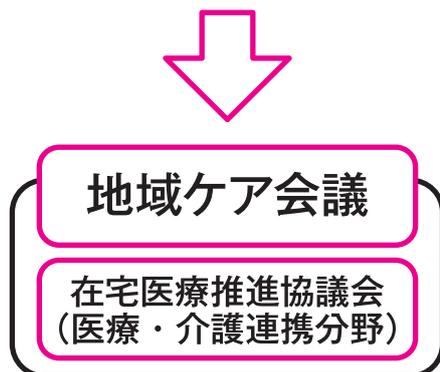
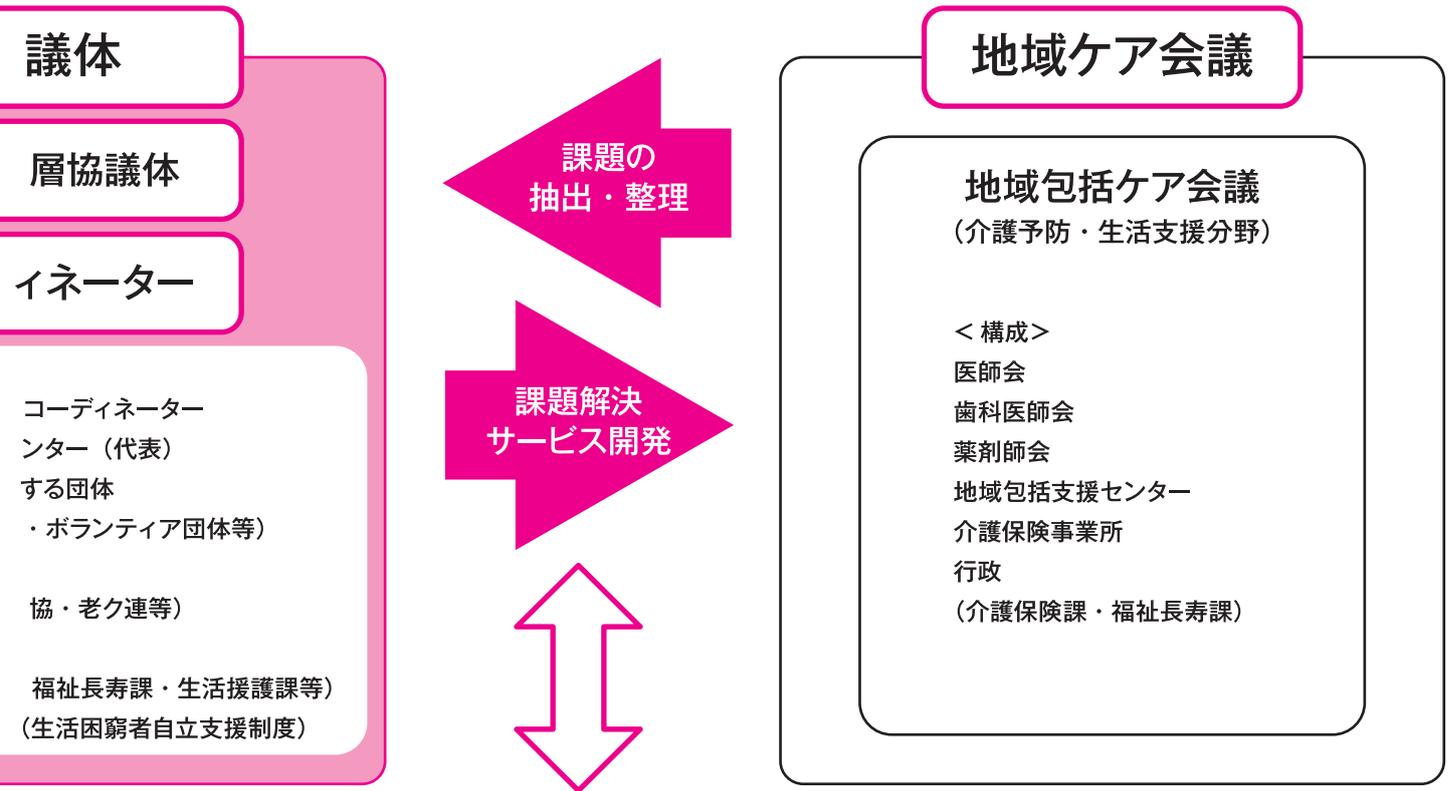
<5年後の地域像>

- ・認知症があっても安心して暮らせるまち。
- ・ご近所の顔が見える地域、ゴミ出しなどちょっとしたことを助けあえる。
- ・何かあったときには手助けしてもらえる、見守りしあえる。
- ・みんなが元気で役割がある。身近で活動できる場所がある。
- ・歩いていける場所にサロンがある。
- ・買い物等に本人が自分で行ける環境や手段がある。
- ・困りごとが相談につながる。

<必要な事>

- ・認知症や精神疾患等の理解をしてもらい、地域で孤立しないようにしていくことが必要。
- ・地域のいろいろな人と顔の見えるつながり作りや仕掛けが必要。まつり以外でも徘徊者搜索模擬訓練やゴミ拾いボランティアなどみんなが会話できるような催しもよいのではなか。
- ・顔の見える関係づくりが必要。いろいろな方が地域で交流を持つことでアイデアも出てくると思う。
- ・自治会の加入者が増えることが必要。日頃から近所のコミュニティができているとよい。
- ・積極的に地域活動を支えてくれる人がいるが、後を担ってくださる人が少ない。
- ・活動に関心のある方が参加しやすい仕掛けが必要。
- ・自分自身で将来に備えておくことも大切。
- ・「助けてほしい。」「手伝ってあげたい。」という事を声に出せることが大切。
- ・必要な情報が集約されていて、入手しやすいようにしていくことが必要。
- ・活動の拠点が必要。

窮者自立支援制度との関係



5 社会福祉法人座間市社会福祉協議会 地域福祉活動計画策定委員会開催経過

開催日	会議名	議題・内容等
平成 28 年 10 月 27 日 (木)	第 1 回策定委員会	策定委員委嘱 ①趣旨説明 ②第 3 次地域福祉活動計画策定について
平成 28 年 12 月 20 日 (火)	第 2 回策定委員会	①進捗状況について ②第 3 次地域福祉活動計画の構想
平成 29 年 1 月 25 日 (水)	第 3 回策定委員会	①進捗状況について ②福祉アンケートの実施について
平成 29 年 2 月 22 日 (水)	第 4 回策定委員会	①進捗状況について ②今後の予定について

6 社会福祉法人座間市社会福祉協議会 地域福祉活動計画策定委員会設置要綱

(目的)

第1条 この要綱は、社会福祉法人座間市社会福祉協議会（以下、「協議会」という。）地域福祉活動計画策定委員会（以下、「委員会」という。）の設置、運営に関し、必要な事項を定めることを目的とする。

(設置)

第2条 座間市における地域福祉の推進と、協議会の事業の充実・強化及び体制の確立をめざす地域福祉活動計画（以下、「計画」という。）を策定するため、委員会を設置する。

(任務)

第3条 委員会は、協議会会長からの次に掲げる諮問事項を調査・審議する。

- (1) 計画策定に必要な実態やニーズの把握、問題・課題の整理及び分析等
- (2) 計画の策定
- (3) その他、計画策定のために必要な事項

(構成)

第4条 委員会は、別表1に掲げるものにより構成する。

- 2 委員は、地域福祉関係者、学識経験者及び行政関係者等の中から協議会会長が委嘱する。

(委員会)

第5条 委員会に委員長1名及び副委員長1名を置く。

- 2 委員長及び副委員長の選任は、委員の互選とする。
- 3 委員長は、委員会の会務を総括する。
- 4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるときはその職務を代行する。

(アドバイザー)

第6条 委員会にアドバイザーを置くことができる。

- 2 アドバイザーは、協議会会長が委嘱する。
- 3 アドバイザーは、委員会に出席し、助言することができる。

(委員会の招集)

第7条 委員会は、必要に応じ委員長が招集し、委員長はその議長となる。

(意見等の聴取)

第8条 委員会が必要と認めた場合は、会議等に関係者の出席を求め、意見及び説明を聞くことができる。

(委員の任期)

第9条 委員の任期は、必要な事項を審議・検討し、協議会会長への答申が終了したときに終わる。

- 2 補欠により就任した委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(事務局)

第10条 委員会の事務局は、協議会内に置く。

2 事務局は、計画の素案を作成する。

(委任)

第11条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営その他必要な事項は、委員長が委員会に諮って定める。

附 則

1 この要綱は、平成20年7月1日から施行する。

2 この要綱は、平成28年10月1日から施行する。

(別表1)

地域福祉活動計画策定委員構成

No.	氏名	所属	備考
1	鈴木 孝幸	社協理事(企画運営委員) 所属団体：座間市障害者団体連合会	
2	菊地 孝	社協理事(企画運営委員) 所属団体：座間市自治会総連合会	
3	黒部 邦雄	社協理事(企画運営委員) 所属団体：(福)座間市社会福祉協議会	
4	曾根 齊	社協理事(企画運営委員) 所属団体：座間市老人クラブ連合会	
5	長谷川 昌夫	社協理事(企画運営委員) 所属団体：座間市ボランティア連絡協議会	
6	関田 好光	社協理事(企画運営委員) 所属団体：(公財)座間市スポーツ・文化振興財団	
7	内田 佳孝	行政：座間市福祉部 福祉長寿課長	
8	長浜 洋二	アドバイザー	